

第3回板橋区ボランティア活動推進協議会専門部会 要点記録

会議名	第3回板橋区ボランティア活動推進協議会専門部会
開催日時	令和5年3月9日(木) 午前10時から正午まで
開催場所	いたばし総合ボランティアセンター 第1ボランティア・NPOルーム
出席者	<p>[委員]8人(敬称略) 長澤重隆(部会長)、松村良子、田口晋、小池睦美、矢野由加、平野江里子、前田康夫、林栄喜(欠席:1人)</p> <p>[オブザーバー] いたばし総合ボランティアセンター所長・副所長</p> <p>[事務局] 地域振興課長、地域振興課地域振興係職員</p>
会議の公開(傍聴)	非公開、ただし要点記録は作成
傍聴者数	なし
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 第4回協議会振り返り 3 今回の検討事項について 4 運営方針(案)の確認について 5 運営方法の検討について <ol style="list-style-type: none"> (1) プラットフォームの導入について (2) 設置・運営主体について 6 閉会
配付資料	資料③-1 (案)第4回板橋区ボランティア活動推進協議会 要点記録 資料③-2 第3回ボランティア活動推進協議会専門部会 検討事項 資料③-3 運営方針について 資料③-4 運営方法案について
事務局	<p>1 開会</p> <p>皆様お集まりいただきましてありがとうございます。定刻になりましたので、会議開催に先立ちまして、事務局から連絡させていただきます。本日の会議でも、会議録を作成する関係から、議事の内容を録音させていただきますのでどうぞご了承ください。ご発言の際には、録音の関係上、マイクを持ちになりご発言をお願いいたします。</p> <p>なお本日は沼委員がご都合によりご欠席でございます。本日は委員9名中8名の委員が参加されておりますので、過半数を満たしております。本協議会は、専門部会正式に成立しております。なお、5月開催予定の第5回協議会に向けまして、専門部会は2回連続で開催される予定でございます。次回、第4回専門部会は4月19日水曜日午後2時から、板橋区役所4階災害対策本部室にて、本日の議題を継続して行います。本ビジョンの肝になる運営方法について検討して参りますため、2回連続開催でも時間がかかりタイトなスケジュールとなっていることが予想されます。限られた時間の中で専門部会での意見をまとめる必要があるため、皆様には今まで以上にお力添えを願いたいと思っております。ご協力お願いいたします。</p> <p>それでは初めに、お手元に配付いたしました資料の確認をお願いいたします。</p>

	<p>資料③-1、第4回板橋区ボランティア活動推進協議会要点記録 資料③-2、第3回ボランティア活動推進協議会専門部会検討事項 資料③-3、運営方針について 資料③-4、運営方法案について 以上4点を机上配付させていただいております。 それでは議事運営を長澤部会長どうぞよろしくお願いたします。</p>
部会長	<p>それでは第3回の部会を開催させていただきます。今日の検討に関しては、前の協議会の委託を受けまして進めていきますが、前回協議会で、承認されましたプラットフォームという仕組みを受け入れて、どう立ち上げていくかというビジョンづくりになってくるかと思しますので、ご協力よろしくお願いたします。</p> <p>それでは、次第の2の協議会の振り返りからまず始めていきたいと思しますので、事務局の方よろしくお願いたします。</p>
事務局	<p>2 第4回協議会の振り返り 3 今回の検討事項について (事務局から資料③-1及び③-2について説明)</p>
部会長	<p>今お話あった運営方針それから運営方法について、特に今日は運営方法に突っ込んだ話をさせていただきたいと思しますので、どうぞ皆さんご協力よろしくお願したいと思します。それでは早速ですが、最初の運営方針の確認のところを進めていきたいと思しますので、事務局の方よろしくお願いたします。</p>
事務局	<p>4 運営方針の確認について (事務局から資料は③-3についての説明)</p>
部会長	<p>ここについては何かありますか。特に各主体は例示であるというような話もされておりましたし、それは前回も確認してあったかと思します。財政の話も出ましたけど、それは後にまた別途に扱って、ここで今日はちょっと扱いませんけど、それ以外のところでもありますか。よろしいでしょうか。運営方針というのはこの文言でよろしいですね。</p>
委員	<p>(異議・意見なし)</p>
部会長	<p>はい。本日の本題となっている議題5の運営方法の検討について入らせてもらいたいと思します。では、まず事務局の方からよろしいですか。</p>
事務局	<p>5 運営方法案について (事務局から資料③-4についての説明)</p>
部会長	<p>それではですね、今の資料③-4をメインに、今から皆さんのご意見をいただきたいと思しますが、事務局からはプラットフォームの機能を強化のために導入を図るに当たって、三つの視点から整理をして提案をしていただいております。まず一つは、その運営方法や事業の整理です。次は、その構成をどのようにとらえるかということと、最後に地域課題解決に向けた運用面でどういうふうにとらえるかという三つの観点から、事務局にはまとめていただきました。とりあえず今のご説明を受けた段階で、1人ずつ順番にそれ一言ずつのご意見感想をよろしくお願いたします。</p>
	<p>(委員意見抜粋)</p>

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・インキュベーション機能だとか、何かこう創出していく機能について記載したほうが良い。 ・検討してもらいたいと思うのは、居場所・活動場所の整備。就労支援なども含めて考えられるといい。 ・コーディネートと人材育成だけだとプラットフォーム機能にならない。人材育成の下にもう一つ強化すべき機能があると思う。 ・プラットフォームを運営する中で、新たに導入するとなるとボラセンの事務局としての機能の中で、事務量を落としていくってことが必要になってくると思う ・プラットフォームを運用するにあたっては、システムを入れていくわけだが、それを使ってどういうふうなアウトプットをしていくかが重要になる。 <p>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月以降のリソースがどれぐらいなのか。
部会長	ボラセンの担当の方は、これを受けて何か感想・ご意見ありますでしょうか。
センター所長・副所長	<p>(質問回答)</p> <p>ご質問がありましたそのリソースの部分なんですけども、資源とか人材のところかというと、今年度、常勤3人、非常勤2人ということで5名で事業をまわしておりますが、来年度も変わらない予定であります。あとは財源についても、約2900万という金額でこの事業と人件費も含めて、まわしているという実情になります。</p>
	<p>(意見抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所というところのプラットフォームというのは非常に重要だと思っている。 ・今プラットフォームという表現を使ってはいないが、実際にはプラットフォームとしての機能を、やっていると感じている。 ・地域の情報をどう把握していくのか、蓄積していくのかが、プラットフォームの機能には非常に大事だと思う。 ・プラットフォームというのはその場だけ作ってもなかなか機能しないので、きちんとしたコーディネーターとしての取り組みが必要だと感じている。
部会長	<p>ありがとうございました。1人ずつご意見を伺いましたが、さらに皆さんから意見を求めたいと思っています。整理・構成、課題解決に向けた運用と三つ大きく分けていきますけども、とりあえず、事業を整理するという視点から資料の新規運営方法とか、既存事業の整備というところを書き出してもらっていますけれども、それも含めて皆さんのご意見はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>(委員意見抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繋がってきたときに相談できる何かが、1ヶ所あると共通認識って共通理解していけるので、そういう何かあったときにシステムが出来ると良い。 ・プラットフォームがあってそこから、課題解決のための手法が協働であったり、コラボレーションであったり生まれてくる。そこの図がほしい。 ・登録者に、何かこちらから一方的に情報を流したいときにはそれで流すような情報発信っていうのは楽かなと思います ・情報発信のベースを作っておくことが出来たら良い。発信する人がすごく大事になるのでデジタル推進チームみたいの作っておく等が出来るといいのではないかな。 <p>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の強化を図るもので、コーディネート機能の強化の方と、逆に効率化して登録・派遣の調整っていうもののその関わりっていうのはコーディネートする中の一部

センター 副 所 長	<p>の業務が登録・派遣の調整っていう認識でいいのか。</p> <p>まず、コーディネートの部分のところをお答えさせていただきたいと思うんですが、プラットフォームを構築したら、きちんとそのコーディネート機能を強化しないと意味がないので、いろんな相談が入ってきて、その課題を解決するために、いろんな団体や活動と結び合わせるコーディネートの強化をしましょうというのが、この既存事業の整理のところでの強化をしなければいけない取り組みなのかなというところなんです。一方でこの登録・派遣の調整っていうところでは、例えば個人の方から、外出の支援をして欲しいというような相談が来たときに、個人のボランティアの方をマッチングする作業というのが、調整する業務が発生するわけなんですけど、それを一人一人やっているのと、かなりの業務量になります。そういう意味でこの事業の効率化という部分の中で、丁寧なコーディネートの部分と、よりもっとマッチングのコーディネートをしていく部分の強化の部分と、相反するところがあるということでございます。</p>
委 員	<p>(委員意見抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その年のトレンドに合わせた団体さんをプッシュするような発信が出来たらいいのではないかと。 ・行政でもトレンドに合わせた仕掛けあると思うが、ボラセンとコラボするとか、ボラセンもちなんだ形で、そういう団体ご支援をするような企画をしてみるとか。 <p>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報紙に、朝と夕の見守りボランティアっていうのが入っているが、こういうのも、なかなかすぐ見つかるものなのか。
センター所 長	<p>情報紙の反応状況をお聞きしていると、ぽつぽつと申し込みが来ているっていうふうに聞いています。この間もZoomの講座の記事を出したら、6名の方が申し込みされたと聞いています。そういう意味で反応が来るという状況です。基本的には施設や団体の活動については、施設と団体で直接受け入れをしていただくようにしているので、ボランティアセンターを挟まなくても、ボランティアの受け入れをしてくださっている状態になっております。先ほどお伝えした個人の方の場合ですと、どうしてもボランティアセンター間に入ってという形になっておりますので、そこでのコーディネート業務が入ってきているという状況でございます。</p>
委 員	<p>(委員意見抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録・派遣の調整の件で、個人ボランティア募集を控えた方がいいのではないかともある。 ・ネットワークとしては、団体と人をつなげるっていうことで注力をして、プラットフォームをつくってもらえたらいいのではないかと。 ・地域のポイントになってももらえる人も巻き込んで、団体を巻き込んでいければ、またそこから地域で見えてくるものもある。 ・民生委員・町会長・青少年健全育成等の方がネットワークに関わると、そこからまた人材につなげていけると思う。お互いウインウインになるようなところもあると思うので、そういうところを巻き込んでいけると良い。
部 会 長	<p>システム同様、インターネット活用はわかるんですけど、具体的に立ち上げるとなると、ちょっと懸念するところがありまして、一体具体的に誰がどうやってこの中にそのシステムを導入して、それを実際にネットワークに活用できるレベルまでするかっていうのは、実際運用している側としてはどうですか。</p>

センター所 長	<p>今回、この推進協議会の方でこのプラットフォームの導入について検討していることを、踏まえてですね、今、板橋区の地域振興課の職員といろいろ検討していて、個人情報であるとか、それをボランティアセンターではないクラウドで保管するというようなところで、意外といろいろとハードルが高いかないというふうには思っているところではあります。プラットフォームをインターネット上でシステムを導入するというふうには言っておりますが、いろいろ検討していかないといけないところかなというふうに思います。</p>
委 員	<p>(委員意見抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム化することで効率化を図る、ネットワークを展開できるっていう前提のところの段階で、ビジョンを見せてもらいたい。
事 務 局	<p>ボランティアセンターの運営委託費として2900万という金額で運営していただいているところです。また設備につきましても、この板橋第三小学校跡地ということで、建物自体は板橋区の財産ですので公文書館や、区でほか団体が占有しているところがありますので、そこ以外を会議室としてボランティアセンターとして活用しているところです。こちらの建物自体もかなり老朽化しているんですけども、どのような建て替えをするのか、そういったことについては、白紙の状況です。希望としましては、協議会や専門部会でのボランティアセンターの今後の展開の話がまとまった段階で政策経営部に持っていき、こういった運営をしていきたいので、それに合った施設の提供を願いたいと申し出をしていくような流れになると思います。</p> <p>それと、これからプラットフォームを構築するにあたっては、当然システムが重要になってくると思います。システムも他のボランティアセンターや他の自治体でどういったシステムを運用しているかということは今事務局で調べているところです。またシステム導入に関しては、当然財源が必要になるので、見極めたものを地域振興課として、財政課へ要望していくというような流れになります。プラットフォームは、これからのボランティアセンターにおいては、構築していかなくてはいけないものだと思いますので、まずは、具体的な条件が整わないと議論してもしょうがないだろうというご意見もあるかもしれないんですけども、私どもは、しかるべきところにちゃんと図っていきたいと思いますので、皆さんのご意見をいただきながら、ボランティアセンターの運営に有効なものを議論の中で深めていって、しかるべき財政当局に話が持っていけることとなりますので、いろいろと検討いただきたいところでございます。</p>
部 会 長	<p>ボランティアセンターのイメージ戦略というか、そういうものをつくっていかなくちゃいけないかと思うんですけど、その辺をちょっと踏まえてですね、何か皆さんからさらにご意見いただければなと思うんですけどいかがでしょうか。</p>
委 員	<p>(委員意見抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の課と他の課をつなぐボラセンみたいな。何か言えば、ボラセンが知っているっていうようなプラットフォームになってくれると非常に心強いというふうに思う。 ・プラットフォームの導入というのは大事、そしてそこで最終的に一番デリケートなところなので個人情報を守っていかなくてはならない。 ・直接的事業のところと、個人と個人をつなぐボランティアのところは他のNPOさんなりに何らかの形で上手に移管できると良い。 ・単発の事業は、年間の企画ものとして運営できるので、そこはボラセンに残ると非常にいいプラットフォームになっていくと思う。 ・ボラセンの周知のあり方については、シニア支援をしている会社様を通じてだった

	<p>り、終活でもいろんなところがされているのでそういう方を通じてボランティアを言ってもらおう。最終手段でシニアの子供世代なんかに周知をして、ボランティアにシニアを巻き込むと良いと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働した後は自立していくボランティアというのは主体的というのが前提なので、各団体と連携していくときも、あくまでも自立や主体性を持って協働していくんだといったような言葉が入ってくる良いのではないか。 ・運営方針のSDGsの視点ということであるので、具体的にSDGsのどの部分をボラセンで担っているのかというのは、メッセージとして示したほうがいい。 ・自立した活動ができるように成熟していかないと各団体もいけないんじゃないか ・頼るのではなく支え合うことが出来ればいいのではないか ・来なくなるボランティアセンターというのを考えていかななくてはならない。
部会長	<p>現況の活動でスペースは足りないんですか。</p>
センター所長	<p>今年度の途中からですが、利用する団体が多いので、3階にある第4ルームというところを分割して使うようにして、第5ルームを新設して、分割することで団体が共同で使える形でやっています。毎月1日に抽選しているんですが、毎月この日に利用したい。この曜日のこの時間に利用したいという団体が何団体かございます。今日お配りした情報紙に施設利用方法の変更についてということで、今までは先着順でしたが、4月からは抽選でということでご案内しています。利用する団体は多いです。利用する団体には不便かけているんですが、ボランティアセンターの窓口で申請しないと利用できないことになっています。このご時世インターネットで色々予約できるようになってはいるので、プラットフォームのシステム化の一つとしてぜひ利用できるようにしたいと思っています。</p>
部会長	<p>周知のあり方は、みなさんとは次回引き続き検討したいところではございますが、今ホームページと紙ベース、区のホームページ等他に何かあるか、皆さんにもまたいろんな知恵をお借りしてこんな方法もあるんじゃないのというものは、次回ご意見伺いたいと思っています。</p>
事務局	<p>長い時間ありがとうございました。それでは事務局から事務連絡をお願いします。</p> <p>皆さま本当にありがとうございました。本日、議論した意見は事務局で集約し、次回第4回専門部会で使用する検討資料を作成させていただきたいと思えます。資料がまとまりましたら、皆さまへ事前に送付させていただき確認をいただくような形ですすめさせていただきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>第4回専門部会の開催日でございますが、4月19日（水）14時から今度は板橋区役所4回災害対策本部室で開催いたしますので、ご参加いただきますようお願いいたします。事務局からは以上です。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。長時間にわたりありがとうございました。素晴らしい議論・意見を出していただき感謝しております。また次回よろしくお願いいたします。</p>
所管課	<p>区民文化部地域振興課 地域振興係 （電話 3579-2163）</p>